

土木構造物を
美しく維持するのに役立つ技術です。

構造物の防汚技術

構造物の防汚技術とは？

自動車排気ガス等による汚れは、都市の美観・景観を損ない、トンネル内の汚れは視認性を低下し、事故増加の要素として問題視されています。

構造物の防汚技術は、土木構造物を美しい状態で維持するため、土木構造物を汚れから守る被覆材料を用いた技術です。

技術の特徴

- 土木用防汚材料の表面は親水性なので、汚れ成分である油性物質は、表面に付着しにくくなっています。
- 降雨や水洗で容易に汚れを除去できます。

汚れがとれるしくみ

防汚材料は親水性だから汚れがとれちゃうんだ！



土木用防汚材料＝表面親水性

一般被覆材料は親油性だから汚れが取れにくかったのかあ。



一般被覆材料＝表面親油性

適用事例

土木用防汚材料Ⅰ種

一般の屋外土木構造物およびその付帯設備に用いられ、降雨等で自然に汚れが除去される機能を有した被覆材料です。

道路化粧板



遮音壁



土木用防汚材料Ⅱ種

トンネルおよびその付帯設備に用いられ、付着した汚れを清掃作業により容易に除去できる被覆材料です。

トンネル



橋脚



土木用防汚材料Ⅲ種

屋外土木構造物の付帯設備である投光板に用いられ、降雨等で汚れが除去される機能を有した被覆材料です。

投光板



参考文献等

■ 構造物の防汚技術開発に関する共同報告書（その1～7）

土木研究所共同研究報告書 第189,190,197～201号

■ 土木用防汚材料に関する調査報告書 土木研究所資料 第3885号 平成15年3月

問い合わせ先

先端材料資源研究センター (iMaRRC) ☎ 029-879-6763